

12月11日（火）明るい革新吹田市政をすすめる会・革新府市政をすすめる吹田連絡会の年次総会が開かれ、76名が参加しました。総会では、「維新政治の10年―大阪でのたたかい」と題して明るい民主大阪府政をつくる会事務局次長の中村正男さんの記念講演が行われました。続いて、日本共産党吹田市会議員の柿原まきさんから市政報告の後、来春の市長選挙をむかえるにあたって明るい会の活動方針案の提案が行われました。最後に明るい会の構成員に向けたアピールが採択されました。最後に明るい会の構成員に向けたアピールが採択されました。以下アピールの全文です。

## アピール「吹田のよさを取り戻そう」と願う幅広い市民との共同をすすめよう

吹田明るい会・連絡会の構成団体のみなさん、来春の4月には吹田市長選挙が行われます。

前回の吹田市長選挙では、私たちは後藤圭一さんの6つの政治市政(①清潔・公正な市政運営、②「行政の維新プロジェクト」はいったん白紙に戻す、③なんでも民営化ではなく、くらしを守る砦として「福祉の増進」に努める、④住民の声をいかした改革と運営を貫く、⑤「大阪都構想」はストップ、⑥憲法と地方自治法を遵守し、「健康づくり都市宣言」「非核平和都市宣言」「安心安全の都市づくり宣言」を守る)を確認し、自主的支援を行い、維新市政からの転換を実現させました。

### 「維新政治からの本物の転換」が求められている

安倍政権がすすめる社会保障の改悪や増税は低所得者や高齢者に負担をおしつけ、雇用破壊、改憲策動など、市民生活や地域経済がよくなる兆しはいっこうに見えませんが。

「行政の維新プロジェクト」で廃止・後退した市民サービスを復活し、くらしを支えてほしい―市民の強い願いはあるものの、福祉バス「きぼう号」復活は実現せず、公立保育園の民営化、学校給食の委託はとまらず、学童保育の委託も新たに始まりました。さらに地機器保健福祉センターや生活困窮支援センターも外部委託が予定されています。

市長交代を実現させたのに、維新政治の影響が根強く残っているとともに、市議会などで不当な攻撃を毅然としてはね返す姿勢に立ちきれないという、きわめて残念な事態を迎えています。「対話と傾聴」を掲げた市政運営はどうなったのかとの声も聞かれます。

吹田市長選挙と同時に進められた吹田市議会議員選挙では、民営化推進、職員削減、住民運動軽視の姿勢を持つ議員が増えました。このことは、議会内外での住民運動や団体活動への介入や干渉を招き、保育園や学童保育の保護者の活動を委縮させています。また、非常勤職員の報酬制度の見直しや行政財産の目的外使用料にかかわる条例などが議員提案され、市民意見を反映する間もなく可決されるなど、これまでにない議会運営が、維新政治からの転換を

阻む一因となっていることは間違いありません。私たちも自主的支援して誕生させた後藤市政に対して、その後、市民要求実現に向けた働きかけは十分なものであったでしょうか。

### 住民運動や市民活動に支えられた

#### 「くらしを守る市政へ」

私たちがのぞむのは、

- ― 自然災害から、市民のくらしや命を守ることができる市政。
- ― 全国ですすむ全員喫食の中学校給食実現に真剣に取り組む市政。
- ― 重度障害者のくらしを支える重度加算制度の見直しの再検討を求める声に耳を傾ける市政。
- ― 待機児解消に取り組む、公立保育園の数を維持し、保育園の増設、職員を増やし市政。
- ― 歳を重ねても、住み慣れた吹田で終の住処を得て、充実した介護を保障する市政。

地域経済を支え、「格差と貧困」の解消に取り組む市政。市民の声が市政に届き、市民のくらしやまちづくりのための成熟した議論が保障される市政。

市民の声や要求に耳を傾け、いっしょになってくらしや地域をよくしたという市政運営が求められています。多彩な住民運動・市民活動に支えられた「福祉の吹田」「子育てするなら吹田」に立ち返り、社会保障の改悪や消費税増税など悪政を進める国といっしょになって、大型公共事業やカジノ誘致にまい進する維新府政から市民のくらしを守る市政の実現こそぞまれています。

### 幅広い市民とともに

#### 「市民共同自治体」づくりに取り組もう

そのためには、政治的な立場や思想・信条の違いを超え、「吹田のまちをよいものにした」「子や孫の世代まで住み続けられるまちへ」と願う市民との「市民共同自治体づくり」に取り組ましましょう。

来春の市長選挙において、吹田明るい会・連絡会は、①国や府の悪政に対して、市民のくらし・いのちを守ること、②清潔・公正・明朗な市政運営を行うこと、③市民各層の幅広い共同が可能であること、の3点を基本にした候補者選定とともに、維新政治からの転換を本物にする立場で奮闘するために、政策づくりと宣伝の強化、組織づくりをすすめます。

同時に、地域・各層・各分野における要求運動のより一層の奮闘と、いっせい地方選挙において、維新政治の影響を脱したいという議席の伸長も重要です。「吹田のよさを取り戻そう」という、つよい決意をもって市長選挙に取り組むことを吹田明るい会・連絡会のみなさんによびかけるものです。

2018年12月11日

吹田明るい革新吹田市政をすすめる会・

革新府市政をすすめる吹田連絡会総会 参加者一同

会費集金は会員の心をあしめる活動です 毎月10日までには集めましょう  
 商工新聞は経営のヒント・ハウスの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう